

精華町ふるさと案内人だより

◆ ふるさと発見・春の旅を実施いたしました



柘榴地区にて



山田地区にて

日 時 平成21年4月24日(金)午前9時30分～午後2時30分
 場 所 極楽寺の梵鐘→乾谷の地名の由来(昼食)→神殿神社
 の十三重の塔(約4km)
 案 内 ふるさと案内人(シルバー人材センター会員)
 人 員 会員9名 参加者32名



爽やかな春の一日、ふるさと案内人の案内で里を彩る菜の花の中を32名の参加者が、山田川流域の歴史と文化財の謎を探る旅を満喫しました。

◆ 「ふるさと案内人の会」へ入会して

佐久間隆司 (光台)

一昨年の11月に定年退職してからは、学生時代の友人と大阪市内で「飲食」をしたり、地元との公開講座に参加し、また一人であちらこちら「河川・古道の散策」を楽しんでおりました。

昨年の11月末頃、「相楽ふるさと塾」で一緒した方に「ふるさと案内人の会」を紹介していただきました。

私は大阪出身ですが、仕事の都合上日本全国を転勤して、やっと50の年に精華町に住居を購入いたしました。これからは、せっかく精華町に住み着きましたので、この地域のことをもっとよく知りたい(本音は飲食を共にする仲間をつくりたい)という軽い気持ちで加入いたしました。幸いにも、【春の旅】の企画がスタートしたばかりでしたので、メンバーの皆さんの中にすぐ入り込ませていただきました。皆さん、いろいろ意見をもっておられる方々(一言二言多いですが?)でしたが、なかなか温かい雰囲気を受け入れていただき、楽しくやっております。



今後は、私自身歴史が好きでしたので「ふるさと案内人の会」のなかで、

精華町・相楽郡内の【古道】
 各集落内外に残る散策の道
 土木建造物の遺構
 条里制の名残(各集落に残る小字名、あぜ道等より)



など、いろいろ興味あることを調べ、会の活動に寄与していきたいと思っております。